

事業 優先順位		2	細事業:消火栓設置事業				整理 番号		02					
目 的		消火栓の設置・修理を行うことで、消防水利の充実を図る。												
目 標		水道給水管布設替えに合わせ、老朽化した消火栓の更新、消火栓の劣弱な地区への新設を図る。												
事業 実施主体		直営		事業開始 年 度		平成元年度以前		根拠 法令		消防法第20条				
事業費・財源	財源内 訳			平成25年度	平成24年度	比 較		コスト 情報・従 事職員数 内 訳 参 考			平成25年度	平成24年度	比 較	
		事業費(決算額)(千円)		17,514	5,970	11,544			総コスト(千円)		19,801	7,160	12,641	
		一般財源		17,514	5,970	11,544			事業費		17,514	5,970	11,544	
		国庫支出金		0	0	0			人件費		2,287	1,190	1,097	
		地方債		0	0	0			公債費		0	0	0	
		その他特定財源		0	0	0			一人あたり(円)		177	63	114	
				0					世帯あたり(円)		419	152	267	
				0					職員数(人)		0.30	0.15	0.15	
									再任用職員数(人)		0.00	0.00	0.00	
今 後 の 方 向 性		消火栓を順次計画的に更新し、水利の脆弱な地域へは消火栓の新設に努める。												
評 価	妥当性		効率性		有効性		対 象 者	計画に基づき設置される消火栓						
	A		A		A									

事業 優先順位		3		細事業：防火水槽設置事業				整理 番号		04	
目 的		震災時の消火栓使用不能時にも対応できるよう、耐震性のある防火水槽の設置を推進し、水利の多様化を図る。									
目 標		消防活動時における、消防水利の確保。未整備地区への新設及び耐震性のない老朽防火水槽の補強。									
事業 実施主体		直営		事業開始 年		平成元年度以前		根拠 法令		消防法第20条	
事業費・財源 財源内訳				平成25年度		平成24年度		比 較		コスト情報・従事職員数 内 容 参 考	
		事業費（決算額）（千円）		8,252		20,434		-12,182			
		一般財源		459		5,434		-4,975			
		国府支出金		2,618		0		2,618			
		地方債		5,100		15,000		-9,900			
		繰越金		75		0		75			
				0							
				0							
今後の方向性		当面は老朽化した防火水槽の補修工事を実施し、新たに用地が確保できれば新設の防火水槽を設置していく									
評 価		妥当性		効率性		有効性		対象者		計画に基づき設置される防火水槽	
		A		A		A					

細事業：消火栓設置事業

消防活動上、必要不可欠である消火栓は、消防施設、人員とともに重要な消防力の一つである。消防隊が火災の際に効果的かつ確実に消火栓から吸水できるよう、水道管の布設替えや整備に合わせ、計画的に適正な配置となるよう設置した。

< 消 火 栓 設 置 状 況 >

	現 有 数	火災に使用したもの
消 火 栓	2 0 4 8 基	1 2 基

< 整 備 ・ 修 理 状 況 >

	整 備 数	整 備 金 額
新 設 ・ 更 新	2 8 基	1 4, 1 8 9, 7 4 1 円
修 理	1 2 基	3, 3 2 4, 1 4 7 円



細事業：防火水槽設置事業

消防水利である防火水槽は消火栓とともに火災等発生した際に、被害を最小限に抑えるため設置している。また、大規模地震等の災害により、水道が断水するなど消火栓が使用不能になる場合に備え、順次防火水槽の設置を行い消防水利の多様化を図った。

< 防 火 水 槽 設 置 状 況 >

	現 有 数
防 火 水 槽	2 7 4 基

< 防 火 水 槽 整 備 状 況 >

	数	場 所	事 業 費
防火水槽新設工事	1 基	小山田町	6, 5 9 2, 9 5 0 円
既設防火水槽補強設計	2 基	本町	1, 6 5 9, 0 0 0 円



新設した耐震性防火水槽（４０立米）